

様式1（視察用）

会派行政視察報告書

平成28年度会派 市政クラブの行政視察研修を、平成28年7月26日(火)から28日(木)までの2泊3日にて執り行いましたので、その概要を下記のとおり報告いたします。

平成29年2月6日

名取市議会議長 郷内良治様

会派名 市政クラブ
代表 相澤 祐司



記

1 期 日 平成28年7月26日(火)～28日(木)

2 参加人員 1名 〈氏名〉相澤 祐司

3 視察先 (1) 鹿児島県いちき串木野市
(2) 鹿児島県始良市
(3) 宮崎県日向市

4 行程表 別紙のとおり

5 調査事項 別紙のとおり

6 所 感 別紙のとおり



平成28年度 青雲倶楽部・市政クラブ視察研修行程表

日程	行程	視察先及び視察項目	宿泊
7/26 (火)	仙台空港(8:00 発)⇒〔伊丹空港経由〕⇒(11:15 着)鹿児島空港(11:20 発)＝ (11:58 着)鹿児島中央駅(12:29 発)＝(13:05 着)串木野駅… <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 14:00～15:30 いちさ串木野市議会視察 </div> …串木野駅(16:12 発)＝鹿児島中央駅… 鹿児島市内宿泊	鹿児島県いちさ串木野市議会 所在地 いちさ串木野市昭和通133-1 電話番号 0996-33-5648 (事務局) 調査項目 1 企業誘致について - 貿易助成制度について -	JR九州ホテル鹿児島 所在地 鹿児島市武1-1-2 電話番号 099-213-8000
7/27 (水)	鹿児島中央駅(09:00 発)＝(09:32 着)帖佐駅… <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 10:00～11:30 始良市議会視察 </div> … 帖佐駅(14:30 発)＝宮崎駅…宮崎市内宿泊	鹿児島県始良市議会 所在地 始良市宮島町25 電話番号 0995-66-3197 (事務局) 調査項目 1 有機就農支援について - 就農者奨励金制度について -	ホテルスカイタワー 所在地 宮崎市高千穂通 2-1-26 電話番号 0985-31-1111
7/28 (木)	宮崎駅(08:06 発)＝(08:51 着)日向市駅… <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 9:30～11:00 日向市議会視察 </div> … 日向市駅(13:27 発)＝(14:22 着)宮崎空港(17:25 発)＝〔伊丹空港経由〕＝ (20:55 着)仙台空港	宮崎県日向市議会 所在地 日向市本町10-5 電話番号 0982-52-8343 (事務局) 調査項目 1 小中一貫教育について - 小中一貫校及び小中連携校の 取り組みについて -	

視察先及び調査事項

【鹿児島県いちき串木野市】

平成28年7月26日（火）14時～15時30分

- ・ 企業誘致（簡易助成制度について）
 - 1 取り組みの経緯
 - 2 各種優遇補助制度について
 - 3 成果と課題

1 西薩中核工業団地（シーフロント串木野）

- ・ 規模 60,8ha（分譲対象用地52,5ha）未分譲地12ha
- ・ 整備主体 独立行政法人中小企業整備機構
- ・ 平成25年に市へ譲渡、12億・15年分割払い
- ・ 平成4年より供用開始、15,000tクラスの船舶が停泊できる串木野新港に隣接した臨界型の工業団地。中国・韓国・東南アジア等に対する南の玄関口としての役割を目指している。

団地内には、公共下水道終末処理場のほか、優良食料品メーカーが多く、さつまあげ・焼酎など県内の企業が立地している。
- ・ 市経済の機関産業である食品産業が、人口減少社会小中高齢社会のなかで、円高・需要低迷・コスト上昇など厳しい経営環境が長期化するなか、市総合戦略の重点項目である「食のまちづくり」「環境維新のまちづくり」の中核となっている。

2 各種優遇補助制度について

- ・ 電気料金＝最大約半額補助（8年間：国）
- ・ 土地賃借料＝10年間無料（11年目以降200円/m²）
- ・ 用地取得費、設備投資費、雇用促進補助＝（最大3億円）
- ・ 水道料金＝1t当たり実質55円（10年間）
- ・ 空工場活用補助金＝賃借料の半額を3年間助成
- ・ 串木野港促進補助＝年間最大100万円
- ・ 海外貿易商談会出展助成金＝年間最大30万円

3 成 果

- ・ 2015年に開催されたアセアン最大の日本食見本市「おいしいジャパン2015」に、いちき串木野市ブースを出展、市内起業4社が市特産品のミナミマグロ・つけあげ・焼酎・まぐろラーメン・和牛ローストビーフ・刺身醤油などを出展し、どのように受け入れられるか確かめてきた。

今回、串木野港からまぐろ転載船を利用して食品を試験的に輸出し、初めて海外物産点に出展し、まぐろを中心とした市特産品に良い感触を得ることができ、今後の食品輸出の可能性を感じる機会となった。

課 題

- ・ 国内経済・地方経済とも依然として厳しく、悪化する社会情勢（小子高齢化・人口減少社会・雇用悪化・東日本大震災）の背景の中で、食の伝承（焼酎・つけあげ・遠洋まぐろ漁業）と脈脈と受け継がれてきた地域資源を活用した地場産業の振興で小子高齢化・地域活性化・財政健全化の課題に取り組み、持続可能な地域として「西薩団地の食品企業を中心とした既存企業育成・支援」での生き残りを図る。

【考 察】

本市に於いても同様に、地場企業育成・支援での、商品ブランド化の確立を勧め地域の活性化と、賑わいのまちづくりを急ぐべきである。

【鹿児島県始良市】

平成28年7月27日（水）10時～11時30分

- ・ 有機就農支援について
 - 1 行政支援による就農奨励金制度の取組の経緯
 - 2 現在の状況
 - 3 就農の成果と課題

1 取り組みの経緯

- ・ 県で平成19年度に有機農業を普及させる目的で、広域普及指導員を設置し、現在、始良を拠点に県全域の有機農業の普及に取り組んでい

る。始良市の特徴は、行政主導のトップダウンではなく、生産者のみなさんが地道にボトムアップで有機農業に取り組んできたことが強い基盤となっている。

- ・平成20年度、(有)かごしま有機生産組合が国の補助事業(2分の1)を活用し、有機農家を育てる研修施設を三拾町に建設した。
1年間の研修費は、宿泊代込みで年間60万円。
国の助成金(年間150万円)終了生の就職率100%

2 現在の状況

- ・部会組織、始良有機部会・蒲生有機部会の2つの部会で構成(JA・県市・かごしま有機生産組合などの関係機関も参加)
- ・有機農業者数41人(有機栽培面積45ha)うち有機JAS認証ほ場25ha
- ・(有)かごしま有機生産組合との作付け計画に基づいた計画的な少量多品目生産。JAとの共販体制の確立。
消費者とのつながりを重視した生産・販売活動。

成 果

- ・味よし、コスト軽減、有機生産組合作付け計画の基消化の確立、多品目(70~180品目)でリスクの軽減、規格外品は給食センターで利用。

課 題

- ・市内での認知度は、まだ低いので高める取り組みの強化。
- ・所得年収は高い人で600万円~150万円と個人差があり、新規就農者は低収入での生活が厳しい状況にある。
- ・高齢化での後継者不足、就農者の定着化を促進。

【考 察】

本市においての有機栽培実践はされてはいないが、後継者不足は全国的課題であり本市においても同様であり、魅力がなく農業離れが進み現在の就農従事者平均年齢は高齢化しており、今後の従事者をどのように育成していくのかが早急な課題である。

【宮崎県日向市】

平成28年7月28日（木）9時30分～11時

- ・ 小中一貫教育及び小中連携校の取組
 - 1 取組の経緯と背景
 - 2 学校教育のプランの概要
 - 3 成果と課題

1 取り組みと経緯と背景

- 平成9年 学社融合教育の推進（美々津教育ネットワーク）
- 平成12年 文科省、県指定中高一貫教育（連携型）実践教育
～14年 （日向高と市全中学校）
- 平成13年 学社融合教育を基盤に小中連携の推進
（美々津中、美々津小、幸脇小→英語活動）
- 平成14年 近隣中学校間の教科交流授業（兼務発令）
（技術、美術、音楽など→美々津中、岩脇中）
- 平成14年 「経済財政と構造改革に関する基本方針2002」
を閣議決定～経済財政諮問会議で特区構想の提案
- 平成15年 隣接小中学校間（小中連携推進校指定）の教科交流授業
（算数、数学、英語など→平岩小、岩脇中）
- 平成17年 日向市小中一貫教育審議会の設置
基本計画の策定、特区申請（内閣府）→特区認定
- 平成18年 平岩小中学校（通称）開校
- 平成20年 大王谷学園（通称）開校（県指定、小中連携拠点校）
全小中学校で英会話科を完全実施
- 平成21年 教育課程特例校として文科省承認
大1年～9学年英会話科（全小中学校）を実施
- 平成23年 東郷学園（通称）開校
- ※特区について、全国的流れのなかでやることにした、

2 学校教育プランの概要

- ・ 日向ならではの教育

恵まれた自然、先賢の精神、豊かな人情などの本市の教育資源を生かしながら、小中学校9年間を通した一貫教育を推進することにより、『ふるさと日向を愛し、豊かな国際感覚をもち、確かな学力と豊かな心を身に付けた、自分に自身と誇りを持って社会に貢献しようとする気概のある子供』を育成することを目指します。

- ・児童生徒の将来を見通した9年間の連続したきめ細かな指導
 - ①ふるさとを愛する心の醸成（ふるさと教育の充実）
 - ②体力向上、食習慣の定着（体育、食育の充実）
 - ③コミュニケーション能力と国際感覚の醸成（英会話科の充実）
 - ④確かな学力の定着の定着（学習意欲の向上、読書・家庭学習の充実
教師の授業力向上、キャリア・ICT教育の充実）
 - ⑤豊かな心の育成（道徳教育、人権同和教育、特別支援教育、生徒指導の充実）

3 成果

◇教職員の意識の変化

- ・小中学校の職員が互いの立場を理解
- ・義務教育9年間を通し子供を育てるという意識の高まり

◇不登校児童が中学校入学とともに改善

◇学習指導に対する意識の向上

- ・9年間の系統を踏まえた指導の必要性
- ・小中学校の互いのよさをとりいれた指導力の向上

課題

◇児童・生徒の学力向上

◇中期ブロック（小5～中1）における指導の充実・改善

◇小・中学校の交流授業の推進学校

◇現状について

- ・生徒たちは安定しているが、生活状態についての検証が難しい
- ・6・3制のよさを取り入れて、中1のギャップの解消
- ・地域の核とした施設の学校づくりに、地域をあげての参加交流を進めることが必要であり先生方の不安の解消

対策

◇教員の指導力の向上

- ・校内研修（授業研究会等）の充実

◇学校の実態に即した取り組みの推進

- ・児童生徒数、職員数、施設の状況等を踏まえた指導体制・内容の工夫・改善

◇教職員の配置

- ・小・中学校免許をもった教員の配置
- ・交流授業拡大のための教員の配置

【考 察】

本市において、東日本大震災復興まちづくり事業で、被災した閑上小・中学校の復旧は小・中一貫教育での再生に取り組んでいるところである。

新生開校は、地域をあげての参加・交流の基に取り組むが必要であり、魅力的な地域の核となる学びの施設づくりに生かしたいと視察で思慮してきた。

青雲倶楽部／市政クラブ 行政視察 2016.07.26 (火)～28 (木)
鹿児島県いちき串木野市・始良市・宮崎県 日向市

7/26 (火) いちき串木野市



7/27(水) 始良市



青雲倶楽部／市政クラブ 行政視察 2016.07.26 (火)～28 (木)
鹿児島県いき串木野市・始良市・宮崎県 日向市

7/28 (木) 日向市

